

# 第17回日本スカウトジャンボリー

## 報道のご案内



「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」

平成30年8月4日（土）～8月10日（金）

石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」



公益財団法人

**ボーイスカウト日本連盟**

目次

1. 開催の趣旨 .....	3
2. テーマ .....	3
3. 会場 .....	3
4. 開催期間 .....	3
5. 参加人員 .....	3
6. 施設と設備 .....	4
7. 基本日程表 .....	4
8. 広報部 報道班 .....	4
9. 報道班 .....	5
10. スカウト通信員と派遣団広報担当者 .....	5
11. 取材活動について .....	5
12. 入場およびプレスカード・駐車証等の発行 .....	6
13. メディアセンター .....	6
14. 報道車両・その他報道関係設備 .....	6
15. 会場までの交通事情について .....	7
16. 取材問い合わせ先 .....	8
第17回日本スカウトジャンボリー会場周辺地図 .....	9
<参考>大会およびジャンボリー年表 .....	10
各種申請書式 .....	11
様式1 .....	12
様式2 .....	13

## 1. 開催の趣旨

日本ジャンボリーは、全国のスカウトと指導者、そして海外からの参加者を交え、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をとおり、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、海外からの参加者との交流を通じて、国際感覚を高揚させ、世界平和を考える機会を提供するなど、青少年の自己成長を促すための我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に開催してきた。

第17回日本スカウトジャンボリーは、日本のスカウト連盟創立100周年を迎える2022年に向けて、国内スカウト運動のさまざまな課題に取り組む大会とし、第18回大会以降も続けていく新たなジャンボリーとして、参加形態の変更、プログラムや大会運営方法の見直し等に取り組み、新たな意義を感じさせるために「スカウトジャンボリー」に名称を変更する。

## 2. テーマ

「冒険 ～能登のチカラ未来へ～」  
(英語テーマ ADVENTURE - NOTO FOR FUTURE -)

## 3. 会場

石川県珠洲市蛸島町 「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

日本海を臨む能登半島の最先端に位置する珠洲市の中心地より東へ約5kmに位置し、大自然に囲まれ、オートキャンプ場、ホテル等を備えたリゾート地「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」とその周辺を会場とする。

## 4. 開催期間

平成30(2018)年8月4日(土)～10日(金)

第17回日本スカウトジャンボリーの参加者は、8月4日(土)に入場し、8月10日(金)に退場するため、6泊7日間のキャンプ生活を行う。

## 5. 参加人員

国内スカウト運動最大の国際キャンプ大会として、次の参加者をもって1万3千人規模で開催する。

参加の区分	内訳	人数
参加隊	(1)スカウト	9,129人
	(2)上記の引率指導者	1,901人
	(3)外国連盟、ガールスカウト、関係諸団体等	572人
大会運営スタッフ		1,574人
派遣団本部スタッフ		183人
	合計	13,356人

平成30年6月14日現在

## 6. 施設と設備

本部食堂1か所 スカウト用品売店1か所 救護所1か所  
キャンプサイト(約11,200人)6か所 スカウトセンター1か所

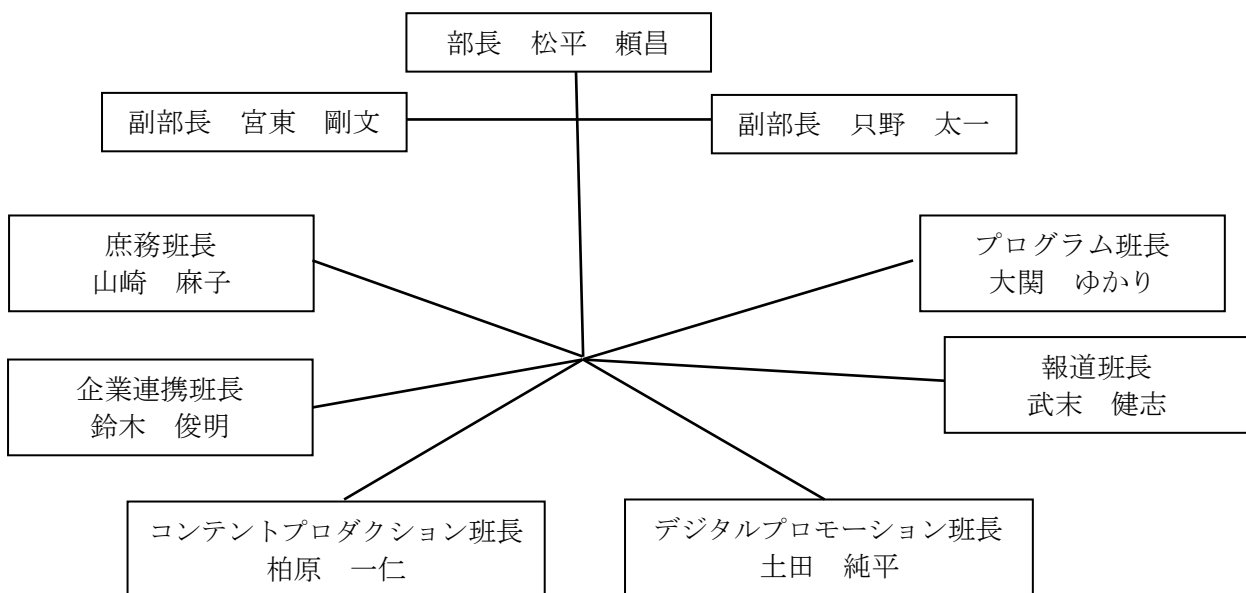
## 7. 基本日程表

8月 1日 (水)	先発スタッフ入場・設営
8月 2日 (木)	大会運営スタッフ入場・設営
8月 3日 (金)	準備作業
8月 4日 (土)	参加者入場・設営
8月 5日 (日)	設営、開会式
8月 6日 (月)	プログラム
8月 7日 (火)	信仰奨励プログラム、ジャンボリー大集会
8月 8日 (水)	プログラム
8月 9日 (木)	プログラム、閉会式
8月10日 (金)	徹営・参加者退場
8月11日 (土)	徹営・大会運営スタッフ退場
8月12日 (日)	徹営・後発スタッフ退場

## 8. 広報部 報道班

報道関係者の取材・撮影等に対する協力、調整等については、大会の運営本部：広報部の報道班が担当するとともに、ニュースの発表も行います。報道班の窓口はメディアセンターにあります。

広報部組織は次のとおりです。



## 9. 報道班

報道関係者の対応を行います。

- (1) 取材に必要なプログラム、行事等の情報提供
- (2) ニュース資料の提供と説明および取材調整等

## 10. スカウト通信員と派遣団広報担当者

各参加隊には広報担当の参加スカウトであるスカウト通信員、各都道府県連盟には広報担当者があり、取材・撮影に協力します。メディアセンターを通じてご依頼ください。

## 11. 取材活動についてのお願い

- (1) 行啓取材以外の通常のプログラム活動の取材については、特に規制はありません。(プログラム進行上、取材場所等、制限がかかる場合があります)
- (2) 参加青少年の生活地域(サブキャンプエリア)の取材については事前の調整をお願いします。
- (3) 早朝や夜間等の取材については、事前にメディアセンターにご相談ください。
- (4) 参加青少年の動員を要する取材についても(3)と同様にお願いします。
- (5) アリーナでの全体行事(開・閉会式、アリーナショー)については、行事の進行に支障のないようご協力ください(あらかじめ取材席を設けます)。
- (6) 会場内での取材・撮影の際には、必ず大会で発行するプレスカードと自社腕章を着用してください。
- (7) 17NSJのスポークスマンは、大会の広報部長です。緊急時の発表は同部長が担当します。専門的なプログラム・行事等について説明が必要な場合は、担当の各部長が行います。
- (8) 航空機・ドローン等による取材については、必ず事前にメディアセンターとご協議ください。

### <会場全体図>



メディアセンター

野球場 3 塁側に報道用駐車場

## 12. 入場およびプレスカード・駐車証等の発行

- (1) 会場内は基本的に車両通行禁止です。事前申し込みで配布いたしました駐車証を見える位置に掲示していただき、野球場1塁側にある、メディア駐車場に駐車してください。その後メディアセンターにお越しいただき、プレスカード（ID）を受領してください。
- (2) 場内各地へのアプローチについては、徒歩が原則となります。プレスカード・駐車証は事前申請を原則とします。お持ちでない方は会社名刺をご用意いただき、報道受付・プレスカード類の発行申請をお願いします。その際、身分を証明できる物の提示をお願いすることがあります。また、会場内の駐車場には十分ゆとりを見込んでいますが、近くの駐車場を提供できない場合もあり得ます。事前の申請をお願いいたします。
- (3) プレスカード・駐車証の発行にあたっては、所定の交付申請書（12頁以降を参照ください）にて、7月24日（火）必着で、下記まで申請してください。

〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 社会連携・広報部 宛

TEL 03-5805-2903 FAX 03-5805-2908

25日以降に関しては、メール、もしくはお電話での受け付けとなり、プレスカード等は会場でのお渡しになります。

当日は会場内交通規制をしておりますので、おそれいりますが、会場付近になりましたら、一度下記番号までご連絡ください。係が誘導いたします。

mail : [pr@scout.or.jp](mailto:pr@scout.or.jp) 電話 : 080-1958-1717

### <交付申請書記入要領>

■職務内容の欄には、次のいずれかをご記入ください。

- ・記者：新聞、通信、放送、雑誌、専門紙の記者
- ・カメラマン：スチール、ムービーのカメラマンと補助員
- ・技術員：新聞、通信、放送技術員
- ・補助員：その他補助員および連絡員

■一般取材は12頁の様式1で申請してください。

## 13. メディアセンター

取材記者用のメディアセンターをご用意してあります。電源（各社で共用）、フリーWifi、ジャンボリーのフォト・アーカイブ等をご利用いただけます。

## 14. 報道車両・その他報道関係設備

- (1) 会場内の主なエリアは車両駐停車を禁止しています。中継車、電送車等を会場内に配置することについては、スケジュールを提出のうえ、主催者と協議してください。
- (2) 食堂  
会場内に売店はございませんので、各社でご手配ください。
- (3) 宿泊  
会場内の宿泊はできません。各社でご手配ください。

## 15. 会場までの交通事情について



### ● JR利用の場合

東京→金沢 約2時間30分（北陸新幹線利用）  
 大阪→金沢 約2時間30分（特急利用）  
 名古屋→金沢 約3時間（特急利用）

### ● 飛行機利用の場合

新千歳空港	→小松空港	約1時間30分
羽田空港	→小松空港	約1時間
成田空港	→小松空港	約1時間15分
仙台空港	→小松空港	約1時間
福岡空港	→小松空港	約1時間20分
那覇空港	→小松空港	約2時間10分
小松空港	→金沢駅	約40分（空港バス利用）
羽田空港	→のと里山空港	約1時間
のと里山空港	→珠洲市内	特急バス利用で約50分、ふるさとタクシー利用で約40分

### ● 特急バス利用の場合

金沢駅→珠洲市内 約3時間（1日4便）

●自家用車等利用の場合

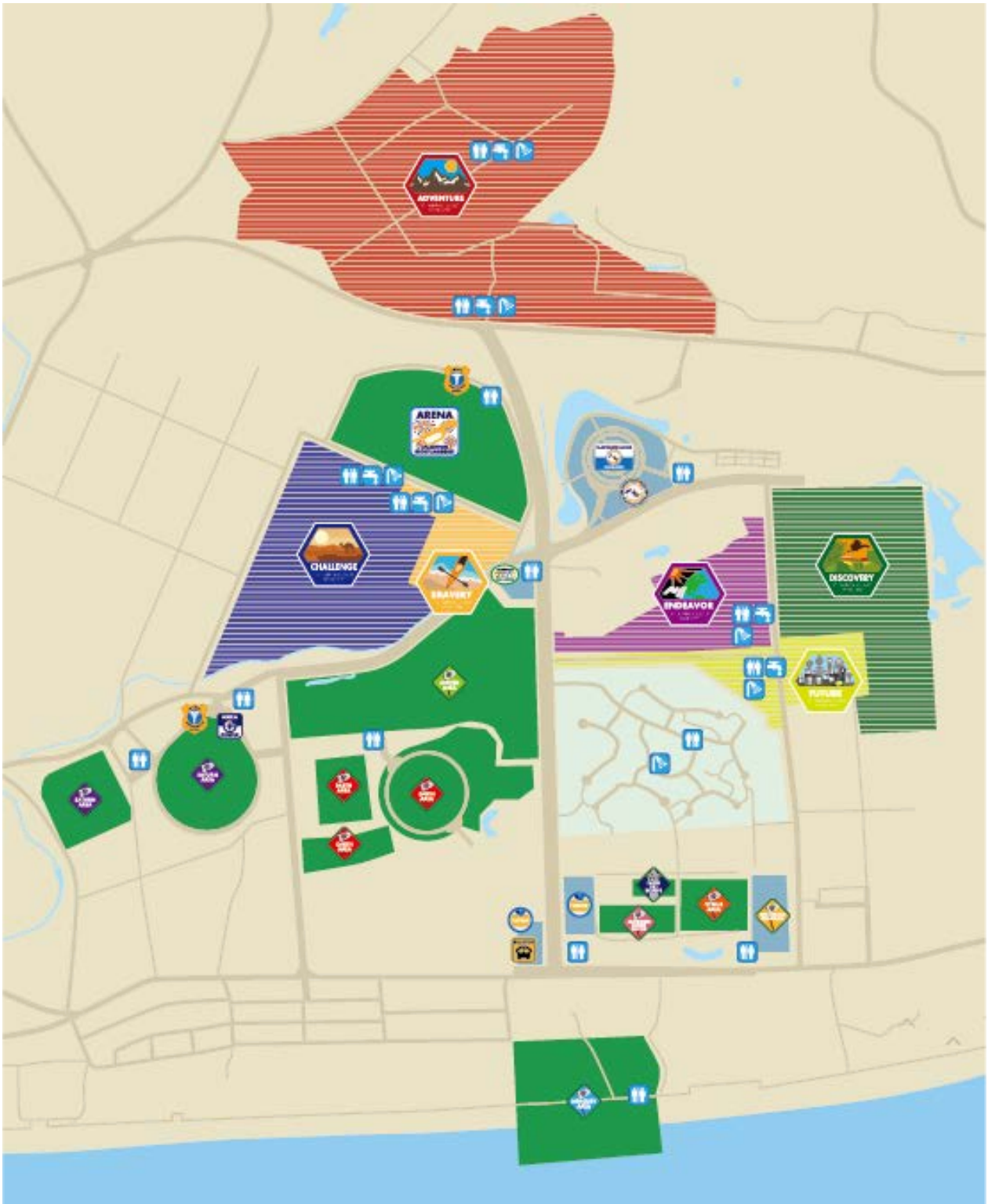
東京	→金沢	約6時間	(関越・北陸自動車道経由)
大阪	→金沢	約3時間30分	(名神・北陸自動車道経由)
名古屋	→金沢	約3時間10分	(名神・北陸自動車道経由)
金沢	→珠洲市内	約2時間30分	(のと里山海道・珠洲道路経由)
小松空港	→珠洲市内	約2時間50分	(北陸自動車道・のと里山海道・珠洲道路 経由)
のと里山空港	→珠洲市内	約40分	(珠洲道路経由)

## 16.取材問い合わせ先

- (1) 平成 30年 7月 30日(月)まで  
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局 社会連携・広報部  
〒113-8517 東京都文京区本郷 1-34-3  
TEL 03-5805-2903 FAX 03-5805-2901  
担当者携帯：080-1985-1717  
e-mail: [pr@scout.or.jp](mailto:pr@scout.or.jp)
- (2) 平成 30年 7月 31日(火)から  
第17回日本スカウトジャンボリー メディアセンター 報道班  
TEL：080-1985-1717  
e-mail: [pr@scout.or.jp](mailto:pr@scout.or.jp)



## 第17回日本スカウトジャンボリー会場周辺地図



<参考> 大会およびジャンボリー年表

	回数	開催年月	開催場所	参加人数	参加国数	日本代表
日本 (スカウト) ジャンボリー	1	昭和 31. 8. 2~6	長野 軽井沢	13,000	12	—
	2	昭和 34. 8. 6~10	滋賀 あいばの	17,000	16	—
	3	昭和 37. 8. 3~8	静岡 御殿場	26,000	16	—
	4	昭和 41. 8. 5~9	岡山 日本原	30,000	12	—
	5	昭和 45. 8. 6~10	静岡 朝霧高原	32,600	13	—
	6	昭和 49. 8. 1~6	北海道 千歳原	26,700	12	—
	7	昭和 53. 8. 4~8	静岡 御殿場	26,270	15	—
	8	昭和 57. 8. 2~6	宮城 南蔵王	30,144	17	—
	9	昭和 61. 8. 2~6	宮城 南蔵王	30,173	16	—
	10	平成 2. 8. 3~7	新潟 妙高高原	31,972	32	—
	11	平成 6. 8. 3~7	大分 久住高原	30,914	22	—
	12	平成 10. 8. 3~7	秋田 森吉山麓高原	26,740	34	—
	13	平成 14. 8. 3~7	大阪 舞洲スポーツアイランド	20,588	37	—
	14	平成 18. 8. 3~7	石川 珠洲	20,652	38	—
	15	平成 22. 8. 2~8	静岡 朝霧高原	19,382	42	—
	16	平成 25. 7. 31~8. 8	山口 きらら浜	14,340	54	—
	17	平成 30. 8. 4~10	石川 珠洲	13,000		
	18	平成 34.	(日本連盟創立100周年)			
世界 (スカウト) ジャンボリー	1	1920. 7. 30~8. 8	イギリス ロンドン・オリンピック	8,000	34	3
	2	1924. 8. 10~17	デンマーク エルメルン	5,000	32	32
	3	1929. 7. 31~8. 13	イギリス アローパーク	50,000	69	28
	4	1933. 8. 2~15	ハンガリー ゴドロ	25,792	33	10
	5	1937. 7. 30~8. 14	オランダ フォーゲレンザン	28,750	54	11
	6	1947. 8. 9~16	フランス モアッソン	24,152	71	0
	7	1951. 8. 3~13	オーストリア バトイスル	12,884	61	2
	8	1955. 8. 18~28	カナダ ナイアガラ・オン・ザ・レイク	11,139	71	14
	9	1957. 8. 1~12	イギリス サトンパーク	31,426	82	22
	10	1959. 7. 17~26	フィリピン マッキンリーパーク	12,203	44	520
	11	1963. 8. 1~11	ギリシア マラソン	11,398	89	138
	12	1967. 8. 1~9	アメリカ アイダホ	12,011	105	320
	13	1971. 8. 2~10	日本 静岡県朝霧高原	23,758	87	7,783
	14	1975. 7. 29~8. 7	ノルウェー リリハマー	17,259	91	141
	15	1983. 7. 4~14	カナダ カナナスキス	14,752	106	42
	16	1987. 12. 30~1988. 1. 10	オーストラリア カタラクトスカウトパーク	14,434	84	548
	17	1991. 8. 8~16	大韓民国 雪岳山国立公園	19,083	135	2,675
	18	1995. 8. 1~11	オランダ ドロンテン	28,960	166	1,236
	19	1998. 12. 27~1999. 1. 6	チリ ピカルキン	31,534	157	227
	20	2002. 12. 28~2003. 1. 8	タイ サッタヒップ	24,000	147	1,250
	21	2007. 7. 27~8. 8	イギリス ハイランズパーク	37,868	155	1,510
	22	2011. 7. 27~8. 7	スウェーデン リンカンピィ	40,061	146	966
	23	2015. 7. 28~8. 8	日本 山口県きらら浜	33,628	155	6,651
	24	2019. 7. 22~8. 2	アメリカ サミットベクトルリザーブ	40,000		

## 各種申請書式

様式1：プレスカード交付申請書（7月24日まで）

（一般取材用・大会期間中 行啓日を除き有効）

様式2：駐車証交付申請書（7月24日まで）

# 様式1

## プレスカード交付申請書

(一般取材用・大会期間中 行啓取材を除き有効)

平成30年7月 日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
事務局長 木村公一 行

社名：

代表者名： 印

住所：

TEL：

FAX：

Eメール：

メディアの種別：新聞、通信、テレビ、ラジオ、雑誌、映画

その他（ ）

取材予定日： 月 日（ ）

下記の者（計 人）について、プレスカードの交付を申請します。

No.	氏名	年齢	職務内容	備考	(日本連盟記 入) 認証No.
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

7月24日(火) 必着で下記まで申請してください。

〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 社会連携・広報部 宛

TEL03-5805-2903 FAX03-5805-2908

担当者携帯：080-1985-1717

## 様式2

### 駐車証交付申請書

平成30年7月 日

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟  
事務局長 木村公一行

社名：

代表者名： 印

住所：

TEL：

FAX：

Eメール：

メディアの種別：新聞、通信、テレビ、ラジオ、雑誌、映画  
その他（ ）

下記の車両について、駐車証の交付を申請します。

取材用、 中継用、 その他（ ）（いずれかに○）

車種名： \_\_\_\_\_

車 番： \_\_\_\_\_ 運転者氏名： \_\_\_\_\_

車両入場予定時間： \_\_\_\_月\_\_日（ ） \_\_\_\_：\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_：\_\_\_\_

※中継車の場合は、駐車希望場所、日程等ご記入ください。

取材希望日時： \_\_\_\_月\_\_日（ ） \_\_\_\_：\_\_\_\_ ~ \_\_\_\_：\_\_\_\_

7月24日（火）必着で下記まで申請してください。

〒113-8517 東京都文京区本郷1-34-3

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 社会連携・広報部 宛

TEL03-5805-2903 FAX03-5805-2908

担当者携帯：080-1985-1717